

オホーツクブルー色指定

C60 M20 Y0 K0

これらの色は、オリジナル原色を撮影した写真データをそのまま掲載しています。
実際のオリジナル原色は、写真データ化した場合の色合いとは若干異なります。

印刷の場合

プロセスカラー（CMYK 値）では、シアン（C）60%・マゼンダ（M）20%が最も近い色になります。

特色（DIC）では、「DIC PRT 3 版 2587」が最も近い色となりますが、プロセスカラーの色指定に極力近づけてください。

- * プロセスカラーは、ご家庭などでインクジェットやレーザープリンターを使用する場合に適しています。また、印刷業者などが印刷する場合にも適しています。
- * 特色は、印刷業者などが印刷する場合に適しています。なお、ご家庭で使用するインクジェット及びレーザープリンターでは特色での配色が困難です。

パソコン画面の場合

パソコンの画面などで活用いただく場合には、RGB 値 R61・G176・B243（HTMLの場合は、3DB0F3）が最も近い色となります。パソコン機種によって、オリジナル原色とモニター画面の色に微かな差が生じる点はご了承ください。

オホーツクブルー清刷

オホーツクブルー

印刷物やホームページ画面などに使用する場合には、商品などのデザインを損なわない範囲で極力「オホーツクブルー」と表示してください。また、スペースに余裕がある場合には、オホーツクブルーの説明文も併せて掲載してください。掲載文は次のとおりです。掲載位置は問いません。

オホーツクブルー

オホーツク地域では、澄み渡った青空、オホーツク海の青、流氷の青、北方民族衣装の青など・・・この地域の雄大な自然や歴史などを象徴して“オホーツクブルー”という言葉で表現しています。

清刷の色は、印刷の状態がオリジナル原画に最も近い色になるよう、写真データを基に調整しておりますが、印刷の際、インク及び印刷用紙の種類、プリンター機種によって色の状態に差が生じる点はご了承ください。

“ 10のストーリーブルー ” 色指定

オホーツクブルーのベースとなった10の物語を含んだ“ストーリーブルー”も使用可能です。色指定を守って使用して下さい。

色指定は全てプロセスカラー（CMYK値）で示しております。特色での指定は行いませんので、特色の場合には極力CMYK値での色指定に近づけてください。

* 10の物語の詳細は、「オホーツク・シンボル委員会」のページをご覧ください。



オホーツク印象派ブルー



オホーツクバルビゾンブルー



アイヌの藍染めブルー



アイヌのガラス玉のブルー



盛夏のオホーツクブルー



オホーツクの夜明けを告げるブルー



暮らしのオホーツクブルー



夢のオホーツクブルー



恋のオホーツクブルー



太陽にかざした流氷の
オホーツクブルー

印刷物やホームページ画面などに使用する場合には、商品などのデザインを損なわない範囲で極力「オホーツクブルー」と表示してください。また、スペースに余裕がある場合には、オホーツクブルーの説明文も併せて掲載してください。掲載文は次のとおりです。掲載位置は問いません。

<ストーリーブルー名>

オホーツク地域では、澄み渡った青空、オホーツク海の青、流氷の青、北方民族衣装の青など・・・この地域の雄大な自然や歴史などを象徴して“オホーツクブルー”という言葉で表現しています。

これらの色は、オリジナル原色を撮影した写真データをそのまま掲載しています。実際のオリジナル原色は、写真データ化した場合の色合いとは若干異なります。印刷の際、インク及び印刷用紙の種類、プリンター機種によって色の状態に差が生じる点はご了承願います。

オホーツク・シンボル委員会で オホーツクブルーを決定しました

オホーツク・エリア・アイデンティティー(オホーツクAI)の一環として、オホーツクブルー、ロゴマーク、キャラクター等のオホーツクのシンボルについて検討する「第3回オホーツク・シンボル委員会(事務局:網走支庁)」が平成19年6月25日(月) 津別町相生の私設美術館「シゲチャンランド」で開催されました。

委員会では各委員が提出したサンプルや平成19年3月に一般公募した作品を基に、オホーツク・シンボル委員会としてのオホーツクブルーを決定しました。



第1回
平成19年4月3日
網走支庁3階2号会議室

シンボル委員会 第1回

一般公募作品や山本委員の写真作品などを参考に、オホーツクブルーとはどのような色なのかについて、各委員の率直な意見が交わされました。

オホーツクのキャラクター名「つくつくオホーツくん」もこの日の委員会で決定しました。

第2回

北海道立北方民族博物館を舞台に、渡部委員(学芸主幹)に北方民族の歴史・文化に由来する“ブルー”を解説いただきながら、オホーツクブルーについて検討しました。



第2回
平成19年5月11日
北海道立北方民族博物館

第3回
平成19年6月25日
シゲチャンランド



第3回

大西委員が館主である私設美術館「シゲチャンランド(津別町相生)」で開催しました。各委員がオホーツクブルーをイメージしたサンプルや一般公募作品を基に、大西委員がオホーツクブルー10色を創りました。

これら10色を混ぜ合わせ、シンボル委員会としての“スタンダードなオホーツクブルー”を決定しました。

オホーツクブルーのベースとなった“10のストーリーブルー”

オホーツク・シンボル委員のイメージサンプルによる9色、一般公募作品（H19.3 募集）からイメージした1色、合わせて10のストーリーを含んだブルーが“オホーツクブルー”のベースとなりました。

各委員の意向により、世界的にも著名なアーティストであり、「つくつくオホーツクン」の生みの親である大西委員に10色の“ストーリーブルー”と“オホーツクブルー”を創っていただきました。



黒瀧委員長 「オホーツク印象派ブルー」

春から秋にかけて農大オホーツクキャンパスのシンボルトワーから遠望される明け方に太陽に照らされる斜里岳や海別岳や知床連峰を覆う薄赤紫色に近いブルー。私はこの色をフランス印象派のセザンヌのサンクトヴィクトワール山の色に習ってオホーツク印象派ブルーと呼びたい。



黒瀧委員長 「オホーツクバルビゾンブルー」

初夏、網走から東蕨琴を経て、屈斜路湖にいたる道路沿い。ここでは浅緑の木々が道路の両側を覆う。この色はまだ見たことの無いフランスのバルビソンのコロアの緑と合うような気がする。このコロアの緑に近い青を私は澄んだ空気とともにオホーツクバルビゾンブルーと呼びたい。



渡部委員 「アイヌの藍染めの青（ブルー）」

アイヌ文化は藍染と深いかわりをもってきた。かつてはアイヌに独自の藍染があったとされるが、本州方面から移入された藍染めが多く利用されてきたことも事実である。いずれにしても、アイヌの衣服には藍染が多用され、それはオホーツク沿岸のアイヌの人びとにも愛された色であった。そうしたことから、歴史的な色の一つとして藍色をオホーツク・ブルーの一つとして挙げたい。



渡部委員 「アイヌのガラス玉の青（ブルー）」

ガラス玉の交易は古くから世界各地で行われてきたが、18世紀頃には北海道および北部周辺地域に中国産あるいはヨーロッパ産のガラス玉が伝えられてきていた。そうしたガラス玉にはいくつかの青色が含まれ、アイヌ文化ではとくにガラス玉の装飾品が珍重されてきた。それらには明るい青から群青の青までさまざまな青色のガラス玉が含まれ、やはりオホーツク沿岸の歴史的青色として、これらのガラス玉の青をオホーツク・ブルーの一つとして挙げたい。



山本委員 「盛夏のオホーツクブルー」

オホーツクの夏は、一斉に農作物が花を咲かせる時期でもあります。短い夏を精一杯に彩るために果敢に咲き誇るじゃがいもの花は、オホーツクの夏の農村景観を象徴する風物詩です。日照率の高いオホーツク地域の肥沃な大地で暖められた空気とオホーツク海からの冷えた空気が交わり、薄い雲を記した「オホーツク・夏ブルー」の空が夏の特徴となります。動きのある雲があることでオホーツクの躍動感がより伝わると思います。

このブルーがあるからこそオホーツクの四季彩が引き立つのであり、どの季節でも活気のある基調色となるのはやはり「オホーツクブルー」だと思えます。



山本委員 「オホーツクの夜明けを告げるブルー」

オホーツクは釧路方面からの湿った空気を蕨琴山・斜里岳や知床連山が遮り、冷涼で澄み切ったオホーツク海高気圧に制圧されます。特に夜明け前の「黎明ブルー」は朝陽を迎えるに相応しい引き締まった空気感のあるオホーツクブルーを見ることができます。

「黎明ブルー」は、オホーツクならではの気象条件がもたらす天然色であると撮影しながら感じています。このブルーがあるからこそオホーツクでは夜空の月も星も暗い中で燦然と輝いて見えるのです。「黎明ブルー」を基調として時間と共に次第に日中のブルーへと変化していきます。出来れば多くの方に、日中とは違った夜のオホーツクも楽しんでもらえたら、もっとオホーツクの魅力が広がることと思えます。

田澤委員 「暮らしのオホーツクブルー」

北見に来てすぐの頃、地元の人から「オホーツクブルー」という言葉を聞きました。「いろんな説があってね。海の色だという人もいるし、空の色だという人もいるし・・・」わからないのに名前があるなんて、不思議な色だな、それが最初の感想でした。それから10年。夫の転勤でやってきたオホーツクが好きになり、とうとう会社を作って住みついた私ですが、「オホーツクブルーはこれ」という決まった色はありません。

でも、素晴らしい四季にかこまれた、オホーツクでの生活の中で、「ああ、これがオホーツクブルーかも・・・」と思う瞬間、瞬間がたくさんありました。そんな私の結論は、オホーツクブルーは、「オホーツクに住んで良かったと思えるほど、澄み切った青色」のこと。



大西委員 「夢のオホーツクブルー」

20代から50才までの約30年間をニューヨーク・東京で暮らし、マンション・アパートの窓から見えるものといえば、コンクリートの壁と隣接する家屋の窓という殺風景なものであった。

50才の時、津別町の相生という小さな集落に越してきた。ここで目にしたのは、山桜とす桃の花が咲き乱れ、どこまでも高く澄みきった青空が広がっていた。この風景を前にして、かつて経験したことのない幸福感に満たされたことを、今でも忘れられない。まさしく、この世のパラダイスであった。そう、この澄み切った空があるだけでも、この地で生きて行けそうな気がしたのである。夢のオホーツクブルー。



大西委員 「恋のオホーツクブルー」

およそ紀元前7世紀という遠い昔より、オホーツクの海と自然豊かなオホーツクの大地を舞台に、人々は数知れない恋をし、恋を育んできた。もちろん失った恋も多いだろう。人がいる限り恋は永遠。これからも、さまざまな清い恋が実ることを、ジーンと見守ってくれるオホーツクの空と海と大地。恋のオホーツクブルー。



一般公募作品からイメージ 「太陽にかざした流氷のオホーツクブルー」

一般公募の作品からは、空・海・流氷・山という自然から受けるイメージが強く、自然が放つ色が独自にあるいは複合的に混ざり合っただけでオホーツクブルーを創り出しているという印象のようである。なかでも、「オホーツク」を絶対的に特徴付ける流氷を対象としたオホーツクブルーを取り上げることにした。

一般公募作品のキーワード等 平成19年3月6日～23日募集

稜線が藍色がかった山と空 上空に向かうにつれ薄い水色から濃い青 海に浮かぶ流氷の色調 青と流氷の青白い色 冷たいオホーツク海を覆う流氷と太陽光が折り重なった瞬間に見ることが出来る色 真夏あるいは真冬の晴天時の空の色 既存の色にたとえると、「ターコイズブルー」に近い 太陽光が流氷に反射することではじめてオホーツク・ブルーが創り出される・・・等々(写真29件、文章16件、絵・絵はがき11件等)



これらの色は、オリジナル原色を撮影した写真データをそのまま掲載しています。

実際のオリジナル原色は、写真データ化した場合の色合いとは若干異なります。

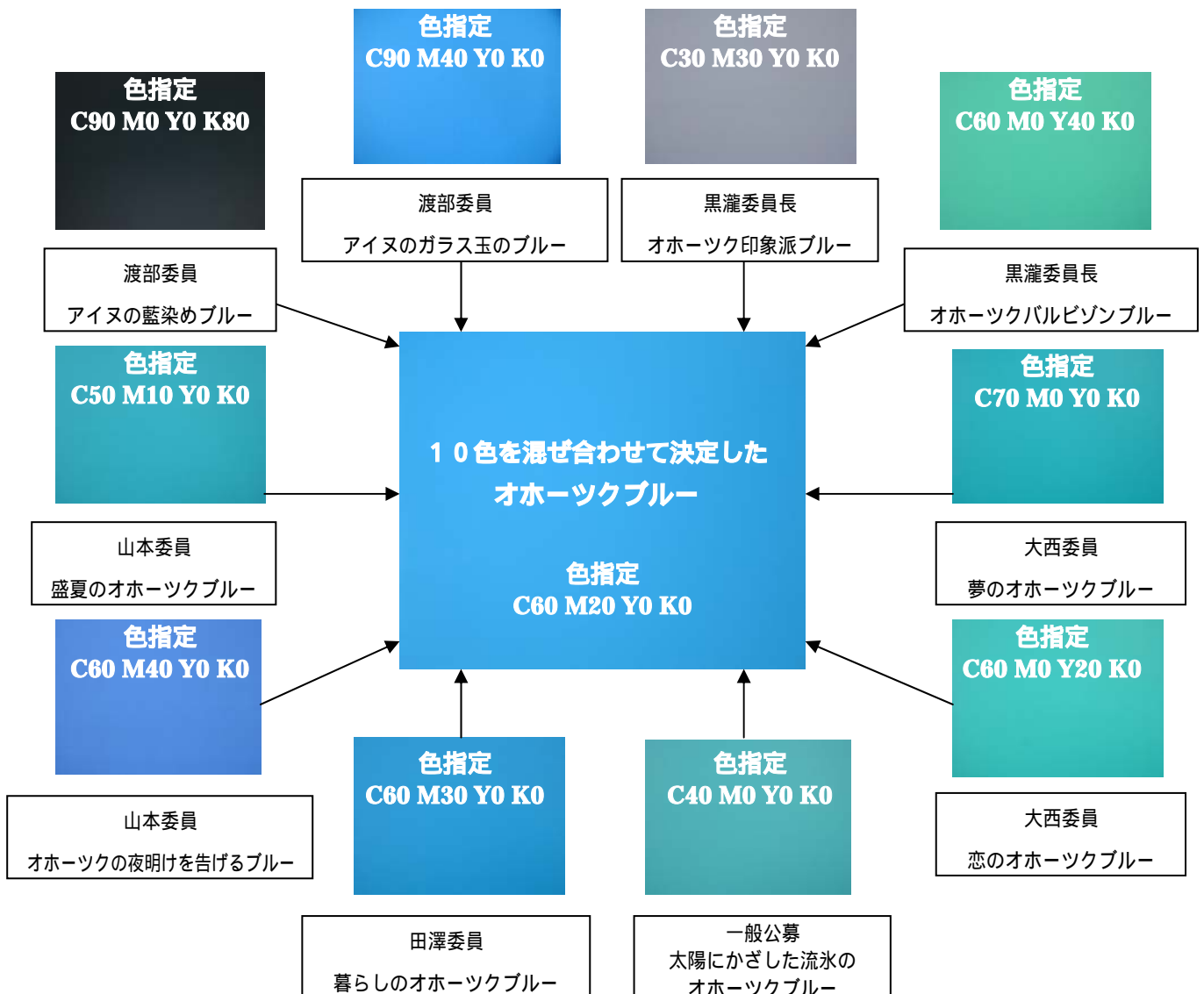
オホーツク・シンボル委員会構成員(順不同 敬称略)

所 属	役 職	氏 名
有限会社大西重成制作室	代 表	大西 重成
東京農業大学オホーツク実学センター	センター長	黒瀧 秀久(委員長)
株式会社ワイズスタッフ	代表取締役	田澤 由利
オホーツクフォトグラファーマンベーズ事務局	事務局長	山本 勝栄
北海道立北方民族博物館	学芸主幹	渡部 裕

“ 10のストーリーブルー ” から “ オホーツクブルー ” が決定しました。
 ストーリーブルーも使用可能です。詳しくはマニュアルをご覧ください。

- 「オホーツク印象派ブルー」 セザンヌのサンクトヴィクトワール山を思わせる印象派ブルー
- 「オホーツクバルビゾンブルー」 フランスの画家コロアの緑にも似た澄んだ空気感のあるブルー
- 「アイヌの藍染めの青（ブルー）」 移入品としてアイヌ文化に残る藍染め衣服のブルー
- 「アイヌのガラス玉の青（ブルー）」 交易品として18世紀頃に欧州等から伝わったガラス玉の歴史的ブルー
- 「盛夏のオホーツクブルー」 肥沃な大地とオホーツク海からの冷たい空気が交わる夏空ブルー
- 「オホーツクの夜明けを告げるブルー」 夜明け前の引き締まった空気感のある「黎明」ブルー
- 「暮らしのオホーツクブルー」 オホーツクに住んでいて良かったと思えるほど、澄み切ったブルー
- 「夢のオホーツクブルー」 まさに、この世のパラダイス。この地で生きて行けそうな気がしたブルー
- 「恋のオホーツクブルー」 さまざまな清い恋が実ることを、ジーンと見守ってくれる空と海と大地のブルー
- 一般公募作品からイメージ「太陽にかざした流氷のオホーツクブルー」オホーツクの絶対的象徴「流氷」ブルー

これら10のストーリーブルーを混ぜ合わせて、オホーツクブルーが決定しました。



“オホーツクブルー”の創り方

大西重成委員に、オホーツクブルーの創作場面を再現していただきました。皆さんも創り方を参考にして、“自分の思い描くオホーツクブルー”を創ってみては如何でしょうか。 場所 大西重成制作室アトリエ



流水をちょうど良い大きさに砕いて



溶けた流水で絵の具を溶きます



色見本チップを見ながら、絵の具を混ぜ合わせて近い色に調合します



乾いた色具合を確認



確認を繰り返し絵の具を調合



色の調合が決定したら一気にむら無く描きます



色見本チップで完成した色を再確認して出来上がり



オホーツクブルー色指定のため、直射日光の下で色見本チップと原画、印刷された場合の色合いを再確認

オホーツク流水館のご好意で、流水を特別にご提供いただきました。ご協力有り難うございました。



館内は約-20



光の加減により美しいブルーを放ちます



貴重な流水を削っていただきました

流水館 工藤業務主任